

# 令和7年度下半期下水道事業 業務状況説明書

## 1 事業の概況

良好な下水道サービスを提供するため、昨年度に引き続き、下水道未普及地域の解消、老朽化した下水道管やポンプ場設備の更新、浸水対策の推進に取り組みました。

管渠建設事業では、2,346,728,859円を投じ、下水道未普及地域に下水道管を新たに5,330.07m布設しました。また、災害時に指定避難所となる小学校等を対象に、災害用マンホールトイレを設置する工事を9箇所実施しました。さらに、横曽根第六排水区雨水管渠築造事業を始めとする浸水対策工事を実施しました。

管渠改良事業では、1,023,286,420円を投じ、老朽化した下水道管の更新工事等を実施し、下水道管2,596mの改築を実施しました。

ポンプ場建設改良事業では、523,710,000円を投じ、青木中継ポンプ場動力設備更新工事のほか、鬼沢橋地下ポンプ室雨水ポンプ2号更新工事等を実施しました。

## 2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

### （1）収益的収支の状況

収益的収入における下水道使用料の決算額は6,380,570,134円で、予算現額6,451,928,000円に対し執行率98.9%、他会計負担金は1,891,955,636円で、予算現額2,002,574,000円に対し執行率94.5%となりました。

これらに、その他営業収益、長期前受金戻入、国庫補助金等を加えた収入総額は11,206,548,903円で、予算現額11,408,782,000円に対し執行率98.2%となりました。

一方、収益的支出の決算額は9,577,988,976円で、予算現額10,417,687,000円に対し91.9%の執行率となりました。主な内訳は、営業費用9,019,611,720円、企業債の支払利息549,635,297円、特別損失7,035,526円となっています。

以上の収支により、本年度の消費税及び地方消費税込みの利益は1,628,559,927円となりました。

### （2）資本的収支の状況

資本的収入の主なものは企業債3,268,800,000円、他会計出資金578,000,000円で、このほか、他会計補助金、国庫補助金等を加えた決算額は4,522,981,545円となり、予算現額5,388,741,000円に対し83.9%の執行率となりました。

一方、資本的支出の決算額は8,153,108,578円で、予算現額9,011,313,000円に対し90.5%の執行率となりました。内訳は、建設改良費4,474,052,589円、企業債償還金3,679,055,989円となっています。

## 3 排水状況

本年度末日の水洗化人口は514,263人で、前年度に比べ2,905人(0.6%)増、水洗化世帯数は267,750世帯で、前年度に比べ5,067世帯(1.9%)の増となっています。

年間総排水量は48,746,339<sup>m</sup>で、前年度に比べて3,776,319<sup>m</sup>(7.2%)の減となり、有収水量は50,827,168<sup>m</sup>、有収率は104.27%となっています。

## 収益的収入及び支出

### 1 収入

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) B-A	執行率 B/A (%)
下水道使用料	6,451,928,000	6,380,570,134	△ 71,357,866	98.9
他会計負担金	2,002,574,000	1,891,955,636	△ 110,618,364	94.5
その他営業収益	2,925,000	2,870,050	△ 54,950	98.1
受取利息	0	5,207,258	5,207,258	—
他会計補助金	131,912,000	108,148,169	△ 23,763,831	82.0
国庫補助金	81,658,000	43,880,000	△ 37,778,000	53.7
長期前受金戻入	2,736,755,000	2,759,959,630	23,204,630	100.8
消費税及び地方消費税還付金	0	8,903,131	8,903,131	—
雑収益	1,029,000	951,892	△ 77,108	92.5
固定資産売却益	0	395,135	395,135	—
過年度損益修正益	1,000	526,450	525,450	52,645.0
その他特別利益	0	3,181,418	3,181,418	—
計	11,408,782,000	11,206,548,903	△ 202,233,097	98.2

(消費税及び地方消費税込みで表示)

### 2 支出

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) A-B	執行率 B/A (%)
管渠費	781,868,000	725,260,537	56,607,463	92.8
ポンプ場費	878,533,000	800,044,932	78,488,068	91.1
普及促進費	122,421,000	91,370,312	31,050,688	74.6
業務費	381,492,000	373,399,096	8,092,904	97.9
総係費	301,367,000	210,147,066	91,219,934	69.7
流域下水道維持管理費負担金	2,342,710,000	1,868,492,834	474,217,166	79.8
減価償却費	4,957,796,000	4,943,589,177	14,206,823	99.7
資産減耗費	9,848,000	7,307,766	2,540,234	74.2
支払利息	586,905,000	549,635,297	37,269,703	93.6
消費税及び地方消費税	28,427,000	0	28,427,000	0.0
雑支出	179,000	1,706,433	△ 1,527,433	953.3
固定資産売却損	190,000	358,192	△ 168,192	188.5
過年度損益修正損	8,095,116	6,677,334	1,417,782	82.5
予備費	27,469,884	0	27,469,884	0.0
計	10,427,301,000	9,577,988,976	849,312,024	91.9

(消費税及び地方消費税込みで表示)

## 資本的収入及び支出

### 1 収入

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) B - A	執行率 B/A (%)
企業債	3,679,000,000	3,268,800,000	△ 410,200,000	88.9
他会計出資金	578,000,000	578,000,000	0	100.0
他会計補助金	131,304,000	131,304,300	300	100.0
国庫補助金	971,421,000	517,672,000	△ 453,749,000	53.3
固定資産売却代金	28,000	18,436,245	18,408,245	65,843.7
受託工事収入	28,988,000	8,769,000	△ 20,219,000	30.3
計	5,388,741,000	4,522,981,545	△ 865,759,455	83.9

(消費税及び地方消費税込みで表示)

### 2 支出

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) A - B	執行率 B/A (%)
建設改良費	5,332,257,000	4,474,052,589	858,204,411	83.9
企業債償還金	3,679,056,000	3,679,055,989	11	100.0
計	9,011,313,000	8,153,108,578	858,204,422	90.5

(消費税及び地方消費税込みで表示)

### 排水の状況

区分	A 令和7年度	B 令和6年度	C 差引 (A - B)	増減率 C/B (%)
水洗化人口 (人)	514,263	511,358	2,905	0.6
水洗化世帯数 (世帯)	267,750	262,683	5,067	1.9
総排水量 (m <sup>3</sup> )	48,746,339	52,522,658	△ 3,776,319	△ 7.2
1日平均排水量 (m <sup>3</sup> )	133,552	143,898	△ 10,346	△ 7.2

## 地方債現在高

令和8年3月31日現在

### 1 地方債

借入先	下水道事業会計
財政融資資金	千円 42,682,799
簡易生命保険資金	721,458
地方公共団体金融機構	7,593,407
市中銀行	334,606
合計	51,332,270

※市中銀行…埼玉りそな銀行、川口信用金庫、青木信用金庫

## 令和8年度下水道事業 予算概要

### 1 事業の概況

本市下水道事業は、「川口市下水道ビジョン」において、「安全で快適な暮らしを未来へつなぐ 川口の下水道」を理念として掲げています。

この理念を実現するため、令和8年度当初予算において、下水道未普及地域の解消、老朽化した管渠等の更新、浸水対策の推進のために必要な経費を計上し、今後も良好な下水道サービスを持続的に提供できるよう努めていきます。

### 2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

#### （1）収益的収支の状況

収益的収入の合計額は13,319,081千円で、前年度に比べ1,910,299千円（16.7%）の増を見込んでいます。増額の主な理由は、下水道使用料が増加したことによるものです。

収益的支出の合計額は11,136,758千円で、前年度に比べ719,071千円（6.9%）の増となっています。増額の主な理由は、ポンプ場費が増加したことによるものです。

#### （2）資本的収支の状況

資本的収入の合計額は4,977,748千円で、内訳は、企業債3,880,800千円、他会計補助金134,316千円、国庫補助金962,128千円、固定資産売却代金9千円、受託工事収入495千円となっています。

資本的支出の合計額は9,654,242千円で、内訳は、建設改良費6,060,880千円、企業債償還金3,593,362千円となっています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額4,676,494千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額431,122千円、減債積立金1,260,000千円、過年度分損益勘定留保資金1,219,185千円、当年度分損益勘定留保資金1,766,187千円で補てんします。

### 3 汚水処理状況

令和8年度の総排水量は61,651,000 m<sup>3</sup>、有収水量は50,567,949 m<sup>3</sup>、予定有収率は82.02%を見込んでいます。